



# 学校だより

6月号

横浜市立大道小学校

令和2年6月1日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 加藤 和之

## 主人公は子どもたち

待ちに待った「学校再開」の日を迎え、「大道っ子」の元気な声が戻ってきました。「おはようございます。」だけではなく、「お帰りなさい！」と笑顔で声をかける、嬉しい登校初日の朝です。

合計すると3か月という長期にわたる「臨時休業」の間、ご家庭では様々なご苦労があったこととお察しいたします。大変な状況にもかかわらず、様々なご対応をいただき、本当にありがとうございました。また、地域の皆様には、公園等で過ごす子どもたちを温かく見守っていただいたことを感謝申し上げます。

お知らせしました通り、6月1日から12日までは、各クラスを二つに分けての「分散登校」、15日（月）から30日（火）までは午前授業と、段階的な学校再開となります。まずは子どもたちが学校生活に慣れることや、感染防止策を講じることを大切にしながら学習を進めていきたいと思っています。長い間学校から遠ざかっていたこと、新しい学年、学級での生活になることなどから、子どもたちにとっては、不安や心配なこともあるだろうと考えています。学校では、子どもたちの様子を丁寧に見て支援していきたいと思っています。気を引き締めながらも、慌てずにじっくりと指導していきます。ご家庭でもお気付きの点、ご心配な点がありましたら、どうぞ遠慮なくご連絡ください。

臨時休業の間、あらためて強く思ったことがあります。それは、「主人公は子どもたち！」ということです。この期間中、子どもたちはやむを得ない事情から大変な我慢を強いられてきました。やりたいことや、たくさんの友達とかかわりながら学ぶことなど、多くのことを制限されてきました。しかし、やっと学校が始まります。今度は、今まで我慢してきた子どもたち一人ひとりが「主人公」として輝いてほしいと願うのです。学校は、子どもたちがのびのびと「自分らしさ」を発揮できる場でありたいと、あらためて思います。

年間の授業時数が少なくなることで、学習を効率よく進める必要があることや、子どもたちが楽しみにしている行事等の変更を余儀なくされることなど、多くの課題があります。それでも、私たちは子どもたちの成長を第一に考え、子どもたちが主人公になれるような教育活動を目指して、工夫していきたいと思っています。

学校教育目標のように、「大道っ子」が「かがやく」よう、元気に頑張ります。あらためて、皆様のご協力、応援をお願いいたします。